

## 平成24年度 実践目標自己評価結果報告

明浄学院高等学校

テーマ	生徒にとって「安全・安心・信頼」の学校運営を目指す
目標（ねらい）	「学校は生徒のためにある」という職員意識の涵養

A：良くあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	実践目標	A	B	C	D
学校運営	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の互換理解がなされ、信頼関係の基づく教育活動を進める。	22% 1 0	30% 1 4	44% 2 0	4% 2
		会議の有効性	職員会議をはじめ各種会議を有効に機能させる。	20% 9	31% 1 4	47% 2 1	2% 1
生徒	生徒支援	学習指導について	学習指導において生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行う。	42% 2 1	40% 2 0	18% 9	0% 0
		進路指導について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができる支援体制を整える。	35% 1 6	52% 2 4	13% 6	0% 0
	生徒指導	生活指導について	生徒の生活指導において、教員の統一した見解を持ち、指導にあたる。	26% 1 2	37% 1 7	37% 1 7	0% 0
		家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密に行い。信頼関係を築く。	41% 1 9	50% 2 3	9% 4	0% 0
教育	生徒会活動	生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できる支援を行う。	37% 1 7	48% 2 2	13% 6	2% 1
	その他	部活動	強化クラブを中心に部活動を活発化させ、学校の活性化を図る。	59% 2 7	30% 1 4	11% 5	0% 0

<p style="text-align: center;">学校長所見</p>	<p>本年度はここ10年来最も多い252名の生徒が入学した。数は力であり入試成績も近來では群を抜いて高かった。募集は学校存続の要である。如何に生徒に魅力ある学校づくりをするかに学校の浮沈が懸かっているのは自明の理である。</p> <p>「躰・和心・グローバル」を行動指針とし、教育活動・特別活動に取り組んだところであり、2年連続6度目の宮中歌会始の入選を果たし、4年連続で台湾において開催される国際会議の出場を決め、オーストラリア・マリスタ女子高校に加え韓国・密陽女子高等学校とも提携を結び相互訪問が実現でき、生徒に還元できる成果を発揮することができた。</p>
--	---

平成 2 5 年 に向けて	<p>学習指導要領改訂に伴い本校の教育課程も 2 5 年度から大幅改訂を実施するところである。特徴的には外国に韓国語、中国語を加え、伝統教育をより強固なものとするべく茶道、華道を学校設定科目に取り入れる。新課程を生徒のために実行たらしめるため不断の検証を怠らないように心掛けたい。</p> <p>大津市の中学校での卑劣極まりない、いじめと称する陰湿な暴力事案による、いたいけない生徒の自殺、大阪の市立高校運動部での教師による部員への体罰と称する傷害致死事案など等、学校の暗部が白日の下に晒し出された一年であった。これらは氷山の一角であり、小学校から大学まで 4 万を数えるわが国の学校にどれほどの同一事案が潜んでいるか、考えただけでも暗澹たるものがある。学校人としてこれらを他山の石とし、生徒個々のメンタル面も含め安全安心な学校運営を心掛けたい。</p>
------------------	---